



『ペットを飼う』＝『命を預かる』こと

飼 い 主 の 責 任

動物を飼うことは、動物の命を預かることです。飼い主は動物が健康で快適に暮らせるようにするとともに、社会や近隣に迷惑を及ぼさないようにする責任があります。

人と動物が共に生きていける社会の実現には、飼い主のモラルとマナーが必要です。

動物の習性などを
正しく理解し、最後まで
責任を持って飼いましょう

飼い始める前から正しい飼い方などの知識を持ち、飼い始めたら、動物の種類に応じた適切な飼い方をして健康・安全に気を配り、最後まで責任を持って飼いましょう。

人に危害を加えたり、
近隣に迷惑を掛けること
のないようにしましょう

ふん尿や毛、羽毛などで近隣の生活環境を悪化させたり、公共の場所を汚さないようにしましょう。また、動物の種類に応じてしつけや訓練をして、人に危害を加えたり、鳴き声などで近隣に迷惑を掛けることのないようにしましょう。

むやみに繁殖させない
ようにしましょう

動物にかけられる手間、時間、空間には限りがあります。きちんと管理できる数を超えないようにしましょう。また、生まれる命に責任が持てないのであれば、不妊去勢手術などの繁殖制限措置を行いましょう。

動物による感染症の
知識を持ちましょう

動物と人の双方に感染する病気(人と動物の共通感染症)について、正しい知識を持ち、自分や他の人への感染を防ぎましょう。

盗難や迷子を防ぐため、
所有者を明らかに
しましょう

飼っている動物が自分のものであることを示す、マイクロチップ、名札、脚環あしわなどの標識を付けましょう。

●環境省ホームページ【飼い主の方やこれからペットを飼う方へ】より抜粋

